

思ふがまま

和田 明

2017年4月2日、高退協事務局から、高退協ニュースの原稿依頼が来た。初めてのことである。私が書けるのは山のことであるが、なんとなく引き受けた。題名は、山紀行・山への思い・山思考、等々。

学校に泊まり込み、徹夜で、指導要録を仕上げた。朝教務に提出する頃、組織職員会が始まるうとしていた。新任教員に、大学山岳部で活躍した方が着任したと聞く。部の後任は、心配ない。ホーム主任をして、日刊ホーム新聞を発行して、任を終えよう。22年経った今も、こんな夢を見る、消化不良で退職したのだろう。

目が覚めると、テレビが、栃木県高体連の、雪崩事故を批判的に報道していた。新聞も、専門家は、「典型的な危険地形」「危険回避の知識教員にあったか」「8名の尊い命を奪ったのだから、当然かもしれないが、県警は、大田原高校を業務上過失致死傷害容疑で家宅捜査した」とある。冥福を祈りながら、今後の経過を見守りたい。

4月1日、高知県山岳連盟が、ネパールヒマラヤ登山隊の壮行式を開いた。1行6名、個人負担金78万円、35日の行程である。仲間も参加予定であったが、お孫さんの誕生で、資金はそこに投資した。正解である。

11月には、NHKホールで山岳写真展を開く、ご期待ください。

燕岳より



待望の一冊(右)
「満天の星よ・山原さん」

「満天の星よ・山原さん」
連続十期当選の底力

山原健二郎資料室友の会
会長 岡崎 清恵

この度、故山原健二郎先生の古くからの友人の沢田民衆社会長の発案により、この待望の一冊が完成されました。略—山原先生が、全国の多くの仲間へ惜しまれる中で逝去してから早や13年余の歳月が流れました。先生は殆ど一日も休むことなく30年6ヶ月間、衆議院議員として全国を駆け巡られ、数々の要求に耳を傾けられ、その実現に全力を挙げられました。本堂にご苦労さまの言葉を捧げたいと今でも思っています。今日、安倍自公政権は、平和憲法を無視し反国民的諸政策を多数を頼んで強行し続けています。全国の多くの仲間が「山原在りせば」の感を一入とされておられると思います。私達、資料室友の会の呼びかけで、毎年3月8日、先生の命日には高知市筆山町の先生の墓地に集まり「墓前祭」が続けられています。ご冥福をお祈りするのには勿論、先生のご遺志

署名返信のお願い

下記の「医療・介護の負担増の中止を求める請願署名」の返信を御ねのたひます。署名欄に空欄があっても結構です。一筆でも多く集約ができればと思ひます。



を継いで、平和憲法を守り国民本位の政治の実現にむけ全力を挙げたかうことを誓い合っています。さて、この本の内容は、第一章 出会いのころ—みんな若かった、第二章 わが師・山原せんせい、第三章 志を継ぐ人たち、第四章 ころの歌・文、第五章 南の熱き炎、の五章立てになっています。第一章から第四章までは、各執筆者の山原先生とのかわり、先生の人柄、先生の実績等々思い思いに綴っています。—略— 広く全国の仲間のご一読を心からお願ひします。
(二〇一六年十二月十日)
(書籍のまえがきから)

一人歩きしている暫定値

日高村村議会、総務常任委員会副委員長 森下芳文

本来、産業廃棄物としては扱われない、放射線汚染物質を、東京電力の福島原発事故以後、1キログラム当たり8000ベクレル以下という暫定値を定めて、産業廃棄物として取り扱っても良いとしている。事の起りは、JA安芸などで、扱っていた木質灰を肥料として、販売をしていたと

メーデ中央集会(右)と交流会(左)



ころ、その成分に疑いがもたれ調べたところ、放射線汚染物質、セシウム137を含んでいることが明らかとなり、高知県は急遽販売を中止させました。販売を中止させて引き取らせたままでは良いのですが、持って行き場に困った高知県は、日高村に設置された産業廃棄物処理場に持ち込んだのです。当時の責任者は、現在の高知県教育長田村氏です。

事もあろうに、他の産業廃棄物に主に灰と一緒にして、1キログラム当たりの8000ベクレルをクリアするよう薄めて持ち込んでいたのです。放射線廃棄物には、これまでも安全という通説です。にもかかわらず、この暫定値にもかわらず、この暫定値が一人歩きをしている状態が野放しにされているのが、日本に於ける放射線汚染物質の実態です。

この日高村産廃施設への持込に関しては、手続的にも疑問の残るところです。当初計画よりも、満杯になるのが早く、新たな施設設置の必要性も議論になり始めていますが、現状も県民の厳しい監視が求められています。